

令和4年度当初予算・令和3年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，小学校費，中学校費，高等学校費，特別支援学校費，社会教育費，保健体育費 目：教育指導費，教職員費，高等学校総務費，高等学校管理費，特別支援学校費，文化施設費，保健体育総務費
担当課	文化財課，学校経営戦略推進課，乳幼児教育支援センター，義務教育指導課，高校教育指導課，豊かな心と身体育成課，特別支援教育課
事業名	教育委員会新型コロナウイルス感染症対応事業（一部国庫）【一部新規】

目 的

新型コロナウイルス感染症の拡大による様々な課題に迅速かつ適切に対処するため，国の「新型コロナウイルス感染症対策」等を活用し，対応策を実施する。

事業説明

対象者

県立学校の児童生徒及び教職員，県民（歴史民俗資料館，歴史博物館及び頼山陽史跡資料館利用者）及び市町 等

事業内容

（単位：千円）

内 容	要求額	
	令和3年度 2月補正予算	令和4年度 当初予算
学習保障に必要な人的体制強化事業	—	185,060
通学対策費	—	619,329
外国人留学生等受入支援事業【新規】	—	6,993
外国青年語学指導者招致事業	—	3,582
臨時医等謝金	—	411
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	240,750	—
県立文化施設活動継続・発展事業【新規】	4,939	—
	12,341	—
教育支援体制整備事業	10,450	—
	8,250	—
合 計	276,730	815,375

成果目標

- 事業目標：新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び幼児児童生徒の学びの保障等に必要な環境の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和4年度当初予算	815,375	669,607	0	0	0	0	15,114	0	130,654
	令和3年度2月補正予算	276,730	276,730	0	0	0	0	0	0	0
要求額	令和4年度当初予算	815,375	669,607	0	0	0	0	15,114	0	130,654
	令和3年度2月補正予算	276,730	276,730	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度当初予算額		822,202	802,887	0	0	0	0	19,315	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (R3 : 129,015千円, R4 : 320,651千円)

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，高等学校費，特別支援学校費 目：教育指導費，高等学校管理費，特別支援学校費
担当課	学校経営戦略推進課，学校教育情報化推進課，義務教育指導課，個別最適な学び担当，高校教育指導課，特別支援教育課
事業名	「学びの革新」推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

多様な学習機会と場の提供等を通じた「個別最適な学び」を推進するとともに、デジタル技術の急速な進展を踏まえ、あらゆる教育活動において、日常的にデジタル機器等を活用する環境を整え、情報モラルを含めた子供たちのデジタルリテラシーの向上を図るほか、デジタル技術の効果的な活用等を通じた、子供たちの主体的な学びを促す教育活動の充実や、グローバルマインドの涵養を図る教育環境の整備などにより、「学びの革新」の更なる加速に取り組む。

事業説明

対象者

児童生徒，教員

事業内容

		(単位：千円)
	内 容	要求額
カリキュラムの質的向上	○学科等の特色を生かしたカリキュラムの開発 ・生徒の深い学びにつなげていくため，学校全体で組織的に学科等の特色を生かしたカリキュラムを開発	25,489
	○カリキュラム・マネジメントの充実に向けた研修 ・学校全体でカリキュラム・マネジメントの効果的・効率的な推進を図るため，管理職，主任等を有機的に結び付ける仕組みを構築	10,737
	○児童生徒の「主体的な学び」を促すカリキュラムの開発 ・小学校と中学校が連携し，プロジェクト型学習を取り入れた探究的な学習に係るカリキュラム等を開発	1,400
探究的な学びに必要な学習環境の充実	○デジタルを基盤とする環境整備 ・生徒一人1台コンピュータを保護者負担により導入することと併せて，学校で使用する周辺機器の整備や，活用のための支援及び研修を実施	228,675
	○デジタル技術の活用に向けた教員の指導力向上 ・市町教育委員会主催のデジタル機器活用研修の支援及び授業研究を通じた効果的なデジタル機器活用に関わる研修の実施	939
	○中山間地域の学校における遠隔教育の推進 ・デジタル技術を活用した遠隔教育システムによる学習環境を中山間地域等に位置する県立高等学校に整備することにより，探究的な学びの実現等につながる教育活動を展開 ・令和5年度の本格実施に向け，年間を通じて遠隔教育を実施する体制について研究	18,660
	○STEAM教育の視点を取り入れた探究活動の充実【新規】 ・学校が設定した生徒の資質・能力の育成のため，実社会に即した教科横断的な学びを実践するカリキュラムを開発	14,075
	○Stanford e-Hiroshima ・スタンフォード大学と連携した遠隔講座を開設し，より高度な学びの機会を提供	5,000
教員の資質・能力の向上	○「主体的な学び」の充実に向けた研修内容の再構築 ・「本質的な問い」を設定する力や生徒をファシリテートする力・評価する力など，主体的な学びに必要な資質・能力を習得する研修を実施	8,388
資質能力の評価方法の充実	○資質・能力定着状況の多面的評価の充実 ・生徒の資質・能力の定着状況を客観的に評価する手法を研究	14,803
個別最適な学びの促進	○個別最適な学びの推進 ・児童生徒の個々の理解度や興味・関心などを考慮した学習活動の充実に向けた先進事例の普及・推進	2,587
主体的な学びを促す授業イメージの共有	○「学びの革新」推進に向けた授業イメージの共有 ・「主体的・対話的で深い学び」を実践する小中学校の研究授業をオンデマンドで配信 ・探究的な学習等を実践する県内外の小中学校を指定校の教職員が視察し，取組を普及	4,809
合 計		335,562

※STEAM教育：STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え，芸術，文化，生活，経済，法律，政治，倫理等を含めた広い範囲でA (Liberal Arts) を定義し，各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育

成果目標

- ワーク : 8 学びの変革の推進
- ワーク目標 : 8割以上の教員が主体的な学びを実践している学校の割合
(実績) 小 : 55.2% (R1) , 中 : 51.9% (R1) , 高 : 43.7% (R2)
(R4目標) 小 : 85% , 中 : 83% , 高 : 80% (R7目標) 全校種100%
カリキュラム・マネジメントが組織的に実践できている高等学校の割合
(R2実績) 91.6% (R4目標) 98.0% (R7目標) 100%
課題発見・解決学習に取り組んでいる小・中学校の割合
(R1実績) 小 : 94.4% , 中 : 93.3% (R4目標) 全校種100% (R7目標) 全校種100%

事業費 (単位 : 千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	335,562	17,542	0	0	0	0	972	0	317,048
要求額	335,562	17,542	0	0	0	0	972	0	317,048
前年度当初予算額	376,559	37,750	0	0	0	0	0	0	338,809

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	乳幼児教育支援センター・生涯学習課
事業名	「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト（一部国庫）【一部新規】

目的

全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上に向け、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに基づいた家庭教育や教育・保育施設への支援などの取組を実施し、本県が目指す乳幼児の姿の実現を図る。

事業説明

対象者

乳幼児，保護者，教育・保育施設の教員・保育士 等

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額
教育・保育内容の充実等【一部新規】 ○幼児教育・保育の質に関する評価指標の検討・開発【新規】 ○園所等の教育・保育の質の向上のための研修の実施 ○幼児教育アドバイザー訪問事業の実施 ○保育ソーシャルワーカー派遣事業の実施 ○園所等に対するペアレント・トレーニング研修の実施【新規】 ○園所等に対する本の貸出【新規】	38,718
幼保小連携・接続の推進 ○幼保小連携・接続に係る研修の実施 ○長期派遣研修の実施 ○幼保小連携・接続の推進に係る委託事業の実施	4,772
家庭教育支援の充実 ○「遊びは学び」をはじめとした親に伝えたい内容の共感的理解の促進 ○親の育ちを応援する学びの機会の充実 ○地域による親子支援の推進	10,446
乳幼児教育支援センターの体制整備 ○専門職員の育成・確保 ○各種会議等による教育・保育の質の向上のための施策検討	33,610
合 計	87,546

成果目標

- 事業目標
 - ・ 幼児教育アドバイザー訪問事業活用又は研修参加した園所等の割合 (R2実績) 62.8% (R4目標) 80%
- ワーク：7 乳幼児教育・保育の充実
- ワーク目標
 - ・ 自己評価を実施している園・所の割合 (R2実績) 88.2% (R4目標) 90% (R7目標) 100%
 - ・ 「遊びの中に学びがある」ことについて、理解している保護者の割合 (R2実績) 85.8% (R4目標) 88% (R7目標) 91%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	87,546	4,555	0	0	0	0	1,159	0	81,832
要求額	87,546	4,555	0	0	0	0	1,159	0	81,832
前年度当初予算額	68,707	5,461	0	0	0	0	0	0	63,246

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，中学校費，高等学校費，社会教育費 目：教育指導費，教職員費，高等学校総務費，社会教育総務費 款：高等学校等奨学金 項：高等学校等奨学金 目：高等学校等奨学金
担当課	教育支援推進課，乳幼児教育支援センター，義務教育指導課，個別最適な学び担当，豊かな心と身体育成課，生涯学習課
事業名	学びのセーフティネット構築事業（一部国庫）

目的

貧困の世代間連鎖を断ち切るため，家庭の経済的事情等に関わらず，全ての子供の能力と可能性を最大限高めることができる教育を実現する。

事業説明

対象者

乳幼児，児童生徒，保護者等

事業内容

（単位：千円）

内 容	要求額
学力向上対策の強化	○小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業（22小学校） 3,447
相談支援体制等の強化	○スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置 ・中学校区：42校区（+2校区），高等学校：10校 ・配置総時間数：28,390時間（+4,890時間） 115,541
	○子供の居場所づくり ・放課後子供教室，地域未来塾等の実施 55,577
	○不登校等児童生徒対策 ・不登校SSR推進校への支援 ・関係団体等との連携について検討 ・「東大LEARN in 広島」等の実施 6,037
経済的支援の拡充 〔高等学校等奨学金特別会計〕	○ICT機器の購入に係る給付制度 経済的に困難な家庭（非課税世帯）の生徒に対して，生徒1人1台のPC端末の購入費用等の給付を実施 269,500
合 計	450,102

【再掲】「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト

内 容	要求額
乳幼児期の教育・保育の充実	○教育・保育内容の充実等 ○幼保小連携・接続の推進 ○家庭教育支援の充実 ○乳幼児教育支援センターの体制整備 87,546

成果目標

- ワーク : 10 学びのセーフティネットの構築
- ワーク目標：不登校児童生徒への支援の結果，好ましい変化が見られた児童生徒の割合（R2実績）51.5%（R4目標）52.4%（R7目標）53.3%

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰越金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	一般会計	180,602	55,397	0	611	0	0	0	0	124,594
	特別会計	269,500	0	0	0	0	269,500	0	0	0
要求額	一般会計	180,602	55,397	0	611	0	0	0	0	124,594
	特別会計	269,500	0	0	0	0	269,500	0	0	0
前年度当初予算額	一般会計	160,212	55,949	0	0	0	0	0	0	104,263
	特別会計	164,500	0	0	0	0	164,500	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	学校経営戦略推進課
事業名	「学びの变革」牽引プロジェクト（単県）

目的

「学びの变革」を先導的に実践する全寮制中高一貫教育校（広島叡智学園中学校・高等学校）における取組を着実に実施するとともに、そのノウハウを全県的に共有することにより、広島県全体の「学びの变革」を早期に実現する。

事業説明

対象者

小・中・高の児童生徒、保護者及び教職員等

事業内容

		(単位：千円)
	内 容	要求額
ソフト面の体制整備	○教育カリキュラムの運用に向けた取組 ・国際バカロレア教育プログラムの実施 ・具体的な授業案等の開発・実践及び改善等 ・授業実施に向けた教員の資質向上（各種研修参加等） ○教職員の採用・育成に向けた取組 ・日本人教員の長期派遣研修の実施 ・外国人教員など専門人材の確保・雇用条件の整備 ○生徒募集に向けた取組 ・学校案内、説明動画等の作成 ・オープンスクール及びサマースクール等の実施 ・入学者選抜等の実施	38,552
学校運営費	○学校運営に係る経費 ・備品等整備費 ・光熱水費、施設維持管理費、食堂厨房運営費等	245,363
合 計		283,915

成果目標

- 事業目標
 - ・「学びの变革」を牽引する教育モデルの確立
(R3実績) 教育モデルの実践・改善（中1～3カリキュラム）
(R4目標) 教育モデルの実践・改善（中1～3カリキュラム 高1カリキュラム）
(R6目標) 教育モデルの確立

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	283,915	0	0	0	0	0	0	0	283,915
要求額	283,915	0	0	0	0	0	0	0	283,915
前年度当初予算額	229,881	0	0	0	0	0	0	0	229,881

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算・令和3年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	特別支援教育課
事業名	特別支援教育ビジョン推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育ビジョンに基づく施策を実施する。

事業説明

対象者

特別支援学校等の幼児児童生徒及び教員

事業内容

内 容	要求額	
	令和3年度 2月補正予算	令和4年度 当初予算
特別支援教育体制整備	—	1,679
教員の専門性向上	—	2,311
就職支援プロジェクト	—	4,588
医療的ケア実施体制の整備	—	4,519
教育環境の充実・整備 【一部新規】	(債務76,794) 313,763	—
	—	104,648
特別支援教育指導委員会	—	367
合 計	(債務76,794) 313,763	118,112

成果目標

- 事業目標 : 個別の指導計画作成率
(R2実績) 幼稚園 : 100%, 小学校 : 99.3%, 中学校 : 96.9%, 高等学校 : 94.2%
(R4目標) 幼稚園 : 99.9%, 小学校 : 98.0%, 中学校 : 98.0%, 高等学校 : 94.0%
- ワーク : 11 特別支援教育の充実
- ワーク目標 : 個別の教育支援計画作成率
(R2実績) 幼稚園 : 93.8%, 小学校 : 94.9%, 中学校 : 94.3%, 高等学校 : 92.7%
(R4目標) 幼稚園 : 99.0%, 小学校 : 95.0%, 中学校 : 95.0%, 高等学校 : 99.0%
(R7目標) 幼稚園 : 100%, 小学校 : 100%, 中学校 : 100%, 高等学校 : 100%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和4年度 当初予算	118,112	938	0	0	0	0	300	103,900	12,974
	令和3年度 2月補正予算	(債務76,794) 313,763	18,102 72,409	0	0	0	0	0	46,600 194,100	12,092) 47,254
要求額	令和4年度 当初予算	118,112	938	0	0	0	0	300	103,900	12,974
	令和3年度 2月補正予算	(債務76,794) 313,763	18,102 72,409	0	0	0	0	0	46,600 194,100	12,092) 47,254
令和3年度 当初予算額	26,579	596	0	0	0	0	290	11,500	14,193	

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育費 款：教育費	項：教育総務費 項：高等学校費 項：特別支援学校費	目：教育指導費 目：高等学校管理費 目：特別支援学校費
担当課	施設課, 学校教育情報化推進課		
事業名	県立学校施設設備整備事業（一部国庫）		

目的

児童・生徒等の学習や生活の場であり、非常災害時には地域住民の避難所等としての役割も果たす学校施設の老朽化対策（長寿命化改修等）や、防災機能の強化、「学びの革新」を推進する施設設備の整備などを進めるとともに、情報教育推進のための設備整備を進めることにより、安全・安心で質の高い教育環境の整備を計画的かつ着実に進める。

事業説明

対象者

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額
学校改修 <ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外部改修工事 ～ 15校 等 ○ 屋外運動場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド改修工事設計 ～ 1校 ○ 防球ネット等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防球ネット等改修工事 ～ 4校 等 	(債務1,301,512) 2,389,110
維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 屋上防水工事 ～ 13校 ○ 建物法定点検 ～ 34校 ○ 維持修繕（土砂災害対応安全対策を含む。）、設備整備、維持管理 等 	(債務115,513) 1,630,948
空調設備維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度に新規整備した空調設備及び保護者負担により設置された空調設備の維持管理費用等【教育振興基金充当】 	528,027
情報化教育推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教室の生徒用PC等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒用PC賃貸借 ○ Heiwaネット運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度中に更新時期を迎えるHeiwaネットの再構築 ・ ネットワーク拠点機器、回線、維持経費 等 ○ 校内通信ネットワークの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内ネットワーク環境の維持管理、回線経費 等 	727,093
合 計	(債務1,417,025) 5,275,178

成果目標

- 事業目標 : 安全・安心で質の高い教育環境の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	(債務1,417,025) 5,275,178	5,093	0	0	0	25,200	12,696	3,209,100	2,023,089
要求額	(債務1,417,025) 5,275,178	5,093	0	0	0	25,200	12,696	3,209,100	2,023,089
前年度当初予算額	(債務1,724,579) 5,013,264	51,299	0	0	0	30,300	849	2,909,700	2,021,116

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	高校教育指導課
事業名	産業教育推進事業（単県）【新規】

目的

次代の産業を支える専門高校生に対し、基盤となる基礎的・基本的な技術・技能に加え、産業界のニーズに呼応する形で、デジタル化に対応した産業機器を活用するためのベースとなる力や、専門高校生の将来を見据え、新たな価値や付加価値を創出できる素養（資質・能力）が身に付けられるよう、職業教育の充実を図る。

事業説明

対象者

農業、工業、商業、家庭、看護及び福祉に関する学科又は総合学科を設置している高等学校（25校）の生徒、教員

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
産業界のニーズや将来的な社会変化に対応した職業教育の充実	○産業界に必要な資質・能力の育成を図るカリキュラム開発 ○デジタル化に対応した産業設備等の活用に係る研修会、地元の企業や大学、研究所等の専門家を招聘した実習の実施 ○教員間でノウハウを共有できるネットワークの構築	18,960

成果目標

- 事業目標 : 将来、身近な地域に貢献したいと考える生徒の割合
(R2実績) 63.5% (R4目標) 67%
- ワーク : 12 キャリア教育・職業教育の推進
- ワーク目標 : 新規高等学校卒業者の就職率
(R2実績) 98.7% (全国平均97.9%) (R4目標) 全国平均以上 (R7目標) 全国平均以上
新規高等学校卒業者の3年以内離職率
(R2実績) 35.7% (全国平均39.5%) (R4目標) 全国平均以下 (R7目標) 全国平均以下

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	18,960	0	0	0	0	0	0	0	18,960
要求額	18,960	0	0	0	0	0	0	0	18,960
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度2月補正

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：教育指導費
担当課	学校教育情報化推進課		
事業名	「GIGAスクール構想の実現」に向けたICT基盤整備事業（一部国庫）【一部新規】		

目的

県立学校児童生徒の一人1台端末の導入を段階的に進める中（令和6年度に全校種・全学年完了）、デジタル機器を活用した効果的な教育を実現するため、国の経済対策を活用して教員の授業用端末を追加整備し、教員が日常的にデジタル機器を活用できる環境の一層の充実を図る。

事業説明

対象者

県立中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教員

事業内容

県立学校に整備した校内通信ネットワーク等のランニングコスト及び教員の授業用端末の追加整備

（単位：千円）

内 容		2月補正 要求額
通信回線利用料	○インターネット回線利用料 【対象】県立学校100校 ○校内通信ネットワーク整備完了までに必要なホームルータ等利用料	—
校内ネットワーク 環境の維持管理	○ネットワーク機器保守料	—
県立学校教員授業用 端末の追加整備 【新規】	○端末購入及び初期設定費用 【整備台数】1,341台	61,931
合 計		61,931

成果目標

- 事業目標
教員が日常的にデジタル機器を活用することができる環境の整備

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査 定 額	61,931	30,172	0	0	0	0	0	0	31,759
要 求 額	61,931	30,172	0	0	0	0	0	0	31,759
現 計 予 算 額	110,201	0	0	0	0	0	0	0	110,201

査定結果

要求どおり